



泉の学び舎

池尻

令和5年度 学校だより 3月号

令和6年 2月26日

世田谷区立池尻小学校

校長 間宮 英二

<http://school.setagaya.ed.jp/iri/>

大雪の日に

校長 間宮 英二

大雪の日の朝のことです。私は普段より早く家を出て、学校に向かっていました。家から駅までの道のりに、日のあたることのない小道があります。そこは、線路と高い塀に挟まれていて、毎年雪が降ると何日も雪がとけずに残り、そこを通る際には皆大変な思いをする場所でした。まだ暗い6時前、その道を通ろうとすると、一人の人影が見えます。雪かきをしている人がいるのです。下を向き、黙々とスコップを動かしています。雪は道の端に寄せられ、アスファルトが顔を出しています。その方のおかげでその小道は、歩くのに支障のない状態になっていたのです。大雪の降った寒い朝でしたが、その人の額には汗が光っています。雪かきを始めて結構な時間が経っていたのでしょう。学校に出勤しようとしていた私は、「すみません。ありがとうございます。」と頭を下げ、その場をあとにしたのです。そこを去り、駅に向かっていく途中、私はなんとも言えない気持ちになりました。自分が普段使う道の雪かきをその方に任せて、その場をあとにしていることに、申し訳ない気持ちになったのです。「その方のおかげで私は駅までの道を安心して歩くことができました。」「なのに、私は何もしていない。」そんな思いが強くなっていたのです。

学校に着くと、早く来た教員や主事などが雪かきをしていました。交番のおまわりさんや近隣の会社の方も雪かきをしています。家やマンションの前の雪かきをしている人たちもいます。雪の積もった歩道や歩道橋も、少しずつ雪がなくなり、歩きやすくなっていきました。雪かきをしていると、歩いている人から「すみません。」「ありがとうございます。」と、声をかけられます。そのような言葉をもらうと、単なる雪かきでも、とても大きな仕事をしているような気持ちになります。そんなとき、家から駅までの道の雪かきを人に任せてしまったことを思い出しました。あのときは、何もせずにその場を立ち去った自分に罪悪感をもってしまっていたのですが、あの小道の雪かきをしてくださっていた人は、私に対して変な思いは、もっていなかったのかもしれませんが、その方は、ただ、自分のできることをできるときにやっただけなのかもしれません。雪をかきながら、「駅までの小道の雪かきはできなかったけれど、その分、池尻の町の雪かきをしよう。」私はそう思ったのです。

「お互い様」という言葉が頭に浮かびました。家の近所の雪かきをすることができなかった自分と池尻の町の雪かきをしている自分とが重なり、その言葉が思い出されたのです。近所の雪かきをしていたあの方は、心の中で私に「お互い様ですから。」と、言っていたのではないのでしょうか。

日本では昔から、人に何かをしてもらったときに、「お互い様ですから。」そんな言葉を返すことが多くあります。以前にその方と関係があったかどうかは、関係ありません。誰かからもらった恩を誰かに返すだけなのです。そうすることで、互いが気持ちよく過ごすことができる、それを例えた言葉なのではないのでしょうか。人は気付かないで周りの人から力を借りて生きています。自分では気付いてはいなくても、どのような形であれ力を借りていることがあるものです。それを何かの機会に、誰かに、何かの形でお返しする、それが「お互い様」の心なのでしょう。またそれは、「人のためになることの喜びを感じること」「人としての豊かさをもつこと」なのかもしれません。一人ひとりがお互い様の心を持ち、受け取った恩を誰かに返していくことで、みんなが幸せになることができるのではないのでしょうか。自分のためではなく、誰かのため・何かのために動くことで、大きな何か生まれるのではないかと感じました。どんなときにも「お互い様ですから。」そう言える大きな人になりたいと強く感じました。

今年度も最後の月となりました。大きな事故もなく1年を終えることができるのも、保護者の皆さま・地域の皆さまのおかげです。本当にありがとうございました。



3月の生活指導目標「感謝の気持ちを伝えよう」

生活指導部

「ありがとう」という言葉は、感謝を伝えることはもちろんのこと、「あなたが私にしてくれた行為に私は気付いています」という意味も含んでいます。では、どんな時に「ありがとう」という気持ちをもつのでしょうか。

これは、成長の過程で「ありがとう」を伝えてもらった経験によって変わります。子どもの頃に「ありがとう」という言葉を数多くかけられた子は、大人になった時に、「どんな時に感謝するのか」、「感謝の気持ちをどう伝えればよいか」、「感謝を伝えると相手との関係も良好になる」などを自然と学び、身に付けていきます。

先生や友達、家族から、「ありがとう」という言葉を掛けられることは、子どもの人格形成はよい影響を与えコミュニケーション力を伸ばします。学校では、機会を捉えて教職員が児童へ「ありがとう」を伝えるにしています。ご家庭でも、様々な場面でお子様に「ありがとう」の一言を掛けていただければと思います。

人格の完成をめざして

振り返り

3月は1年間のまとめの月です。1年前に入学・進級した時、どのような目標を立て、それに向けて努力できたでしょうか。

親子で1年を振り返り、保護者の方に努力を認められることは、次の成長への糧となります。よろしくお願いします。



学校保健委員会「子どもの健康を考える会」報告

学校保健担当

令和6年2月14日（水）に、対面形式では4年ぶりとなる「学校保健委員会」を実施しました。定期健康診断や体力テスト結果から分かる池尻小学校の子どもたちの様子、また、学校医の先生方からもお気付きの点などを説明いただきました。その後、内科校医の廣瀬久人先生より、花粉症等を含む「I型アレルギーについて」をテーマにご講話いただきました。

終盤には、ご参加いただいた保護者の方々と教員が小グループになり、児童の健康について気掛かりな点を出し合いました。「タブレット端末の使用と視力低下の関係」や「朝、炭酸飲料を飲むのは体に良くないか」など、直接、学校医の先生方に質問することもでき、まさに子どもの健康について考える会になりました。

3学期保護者会について

教務部

今年度最後の保護者会を以下の日程で開催します。

1、2年生：3月4日（月） 3、4年生：3月1日（金） 5、6年生：2月29日（木）

<開始時刻> 2年生のみ14時30分開始

2年生以外の学年は、全て14時50分開始

場所につきましては、学年だよりでお知らせしておりますのでご確認ください。（上履きをご持参ください。）



インフルエンザの出席停止期間について

生活指導部

今年度は、全国的にもインフルエンザが流行しています。発熱した場合には、早めにかかりつけの医師へご相談ください。なお、インフルエンザと診断された場合、出席停止期間は「発症した後（発症の翌日を1日目として）5日を経過し、かつ解熱後（解熱の翌日を1日目として）2日を経過するまで」となります。解熱後も感染力は残っていますので、出席停止期間について十分にご確認ください。よろしくお願いいたします。

入学から1年

1年担任

1年生は、入学して約1年で大きく成長しました。日々、自分でできることが増え、1学期の運動会や2学期の学芸会では、学年で協力して行事に取り組む楽しさも感じることができました。

3学期になると、より主体的に活動できるようになってきています。保育園との交流会では、保育園児が楽しめる事を自分たちで考え、国語の音読をしたり、算数の計算方法を教えたり、音楽を合奏したりしました。また、遊ぶ際には、保育園児に楽しんでもらうように、分かりやすくルールを説明し、やさしい声掛けをすることができました。

残り1か月で、いよいよ2年生になります。令和6年度の入学式では、新1年生に向けて、歓迎の出し物を披露します。新1年生の立派なお手本になれるよう、また、充実した学校生活を送ることができるよう指導・支援していきます。



6年生を送る会

特別活動部

1月の委員会活動で5年生は、「6年生を送る会」のめあてについて話し合いました。「6年生が気持ちよく卒業できるように、というのはどうかな?」、「池尻小学校のすてきな思い出を作ってもらって、送り出したいな。」、「6年生にありがとうって伝えたいよね。」など、様々な意見が出されました。

例年、各学年からの出し物を披露する形で会を行ってきましたが、今年度は楽しいイベントを考えたいということで、6年生と過ごす時間を楽しむためのゲームを行うことになりました。昨年と同じもので・・・と計画しがちが「6年生を送る会」も、児童にねらいを問い掛けることで、話し合いが活発に行われ、今までに無かったアイデアが生まれることがあります。

現在、6年生は、在校生に向けたお礼の合奏の準備を進めています。在校生は、あらためて6年生の偉大さや感謝、卒業してしまうさみしさを感じる会になるのではないかと考えます。

これまでとは違った内容ですが、全校児童にとって素敵な思い出となる6年生を送る会」になるのではないかと非常に楽しみです。

卒業を前に

6年担任

保護者、地域の皆様の温かいご支援を賜り、いよいよ卒業を迎える3月に入ります。

4月は、新入生のお世話をすることからスタートしました。1年生の身長に合わせようと、かがみながらやさしく声を掛けたり、掃除の仕方を丁寧に教えたり、1年生にとって分かる言い回しに変えようと伝え方を模索する姿が印象的でした。特別活動では、委員会活動、クラブ活動、縦割り班活動のリーダーとして、全体を考え、まとめることができました。下級生の気持ちを大切にし、全員が楽しい気持ちになれるように力を尽くしていました。

毎日の教科学習、運動会や学芸会、日光林間学園、社会科見学・・・多くの経験を通して、大きく成長することができた1年間でした。卒業式の日、6年生全員が、笑顔で池尻小学校を旅立つことができるよう、教職員一同、力を合わせて取り組んでいきます。残りわずかな6年生との日々を担当として大切に過ごしていきたいと思えます。

